

みんなで受けよう乳がん検診

日時：2012年3月11日（日）16時15分～17時30分

場所：帝京大学本部棟2階 臨床大講堂（板橋区加賀2-11-1）

講演 乳がん検診 鎌田 正晴（健康保険鳴門病院）
乳がんの基礎と臨床 中村 清吾（昭和大学乳腺外科）
乳がん患者の立場から 若尾 直子（山梨まんまくらぶ代表）

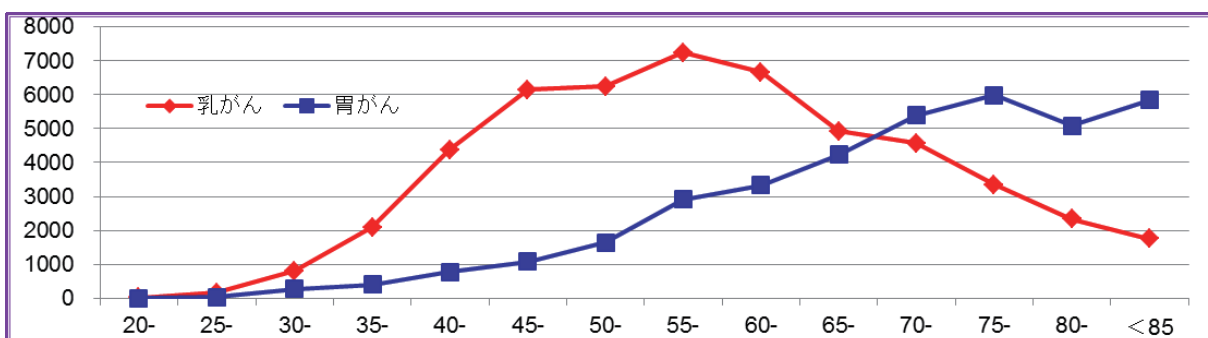
定員：250名

（入場無料・事前申込は行いません、当日先着順にご入場いただきます）

いくつか知っていますか？ 乳がん・乳がん検診のこと



- ① 早期発見が大切：早く見つければ 乳房温存できる可能性が高いです
- ② そのために検診が必要です
- ③ 月1回の自己触診と定期的な画像検診（マンモグラフィ・超音波）が大切です
- ④ 乳がん検診の無料クーポン券が、40歳と45歳と50歳と55歳と60歳に配られています
- ⑤ 乳がん患者は増えています：16人に1人の罹患率
- ⑥ 日本人の年代別乳がん罹患率は40歳代後半、罹患数は50歳代後半がピークです
- ⑦ 35～64歳代に限ると罹患率第1位です
- ⑧ 妊娠中の乳がん管理は難しいので、妊娠前から乳がん検診を受けましょう
- ⑨ 若年性乳がんには、遺伝的なものが10%あります
- ⑩ 乳がんの治療には目をみはる進歩があります（温存・薬物・ホルモン治療等）
- ⑪ が、乳癌死亡も増加中、日本では乳がんが原因で年間1万人以上の方が亡くなります
- ⑫ 検診受診率の向上が現在の大きな課題です



日本人女性の臓器別年代別がん罹患数(2005年国立がん研究センターがん対策情報センター)

主催 日本産婦人科乳癌学会 寺本 勝寛 第18回学術集会会長（山梨県立中央病院）
共催 東京産科婦人科学会
後援 日本産科婦人科学会

【お問合せ先】日本産婦人科乳癌学会 電話：03-6868-3704 E-mail：jbsgo-office@mint.ocn.ne.jp